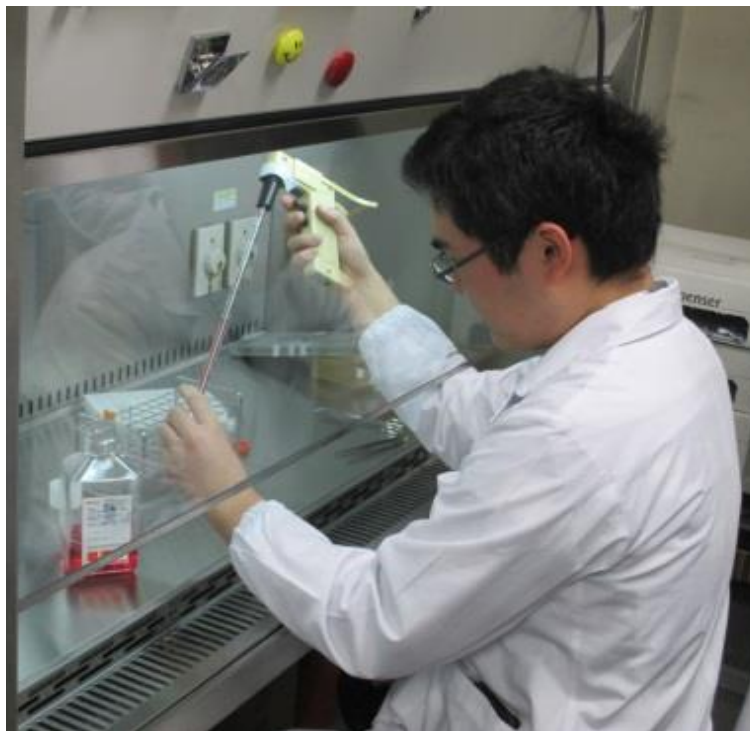


次世代才能スキップアッププログラム

G-スキッパー養成コース



G-スキッパーとは

次世代理系人材として、自ら立案した研究に取り組みます。大学教員が面接を行い、研究のテーマを決定します。みなさんは、大学教員およびチューター(大学生、大学院生)の指導を受けながら、大学の研究施設を利用して研究を進めていきます。

G-スキッパーになると

- 自分の研究を大学の施設を利用して行うことができます。
- 同じ志を持つ仲間に出会えます。
- 研究発表会に参加し、自分の研究を英語で発表することができます。
- 自学自習の習慣が身につきます。

G-スキッパーエントリー方法

自ら立案した研究テーマを次世代才能支援室に提出



大学教員との面接(選抜)



合格者は大学での研究を開始

※基本的には基礎力養成講座受講生が対象です。

【応募方法】

- ①学校名、学年、氏名 ②研究テーマ、研究方法
上記を記載し、次世代才能支援室
(jjisedai-ap@chiba-u.jp)宛てに送ってください。
※面接の日程は支援室よりご連絡差し上げます。



私の夢、生命学者（Gスキッパー選抜コース）



日本女子大学
理学部 物質生物科学科3年生

加藤 千遥

この講座に参加することで、高校では学べない高度な科学の技術や知識に触れられたことはもちろん、英語でのポスター発表などのさまざまな発表の機会が得られたことが私にとって貴重な経験となりました。大学での研究活動を通して、観察することや論理的に考えることの難しさと楽しさを学びました。さらに、この講座に参加しているほかの高校生との出会いの中で、学校では語り合えなかった生命学者としての夢や将来の具体的な目標について話し合うことができ、これからの私の生き方を考える良い機会となりました。

Gスキッパーへの流れ



基礎力養成講座

4コース(健康・医療、総合科学、園芸コース、テクノロジー)の分野横断的講座を開催します。講座の内容は大学教養教育を基盤にして、段階的にレベルを上げていきます。受講生は継続して講座に参加することで幅広い知識・実験スキル・科学的な思考を身につけていきます。



Gスキッパーエントリーから合格への流れ

- ①次世代才能支援室に、学校名、学年、氏名、研究テーマを送る
- ②大学教員との面接
- ③正式な研究テーマの決定



面接の様子

過去の研究テーマ(一部抜粋)

- ・蠟燭のゆらぎ
- ・コロナ放電により生成したオゾンの利用
- ・アロエ抽出からの創傷治癒に及ぼす影響

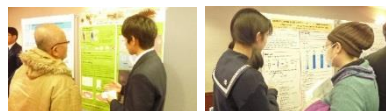
Gスキッパーとしての活動 (一例)

生物に強い関心を持ち、毎年生物オリンピック予選に挑戦するなど、意欲的に科学コンテスト等に参加していたSさん。Sさんは特定の細胞の分離・収集する技術の習得を目標に活動に取り組んだ。具体的な試みとして、ヒト末梢血からキラーT細胞(CD3陽性CD8陽性細胞)の濃縮を行った。



修了発表会

2月にTWINCLEとのコラボレーションで実施するポスター発表会にて、ASEANの大学、高校教員の前で英語でポスタープレゼンテーションをします。プレゼンテーション技術の向上、自分の研究を科学的に表現する力の育成を目標としています。



【応募方法】

- ①学校名、学年、氏名
 - ②研究テーマ、研究方法
- 上記を記載し、次世代才能支援室
(jisedai-ap@chiba-u.jp)宛てに送ってください。
※面接の日程は支援室よりご連絡差し上げます。

【連絡先】

千葉大学次世代才能支援室
TEL・FAX 043-290-2584
Mail jisedai-ap@chiba-u.jp
HP <http://ngas-chiba.jp/>